

# 防 災 係

## 1 災害対策

### (1) 訓練

#### ア 福生市総合防災訓練

日 時 平成 20 年 8 月 31 日(日) 災害対策本部訓練 午前 8 時 30 分～正午  
各訓練会場 午前 9 時 00 分～正午

目 的 大規模な地震が発生したとの想定による、市民の迅速な避難、関係機関との連携及び自主防災組織の行動力の向上を図った。また、新庁舎では市対策本部審議運営訓練及び福生市災害ボランティアセンターとの連携訓練を、第 4 訓練会場においては福生市消防団による救助訓練を、新たに実施した。

場 所 災害対策本部 福生市役所 ( 93 人 )  
第 1 訓練会場 福生第一小学校 ( 165 人 )  
第 2 訓練会場 福生第二小学校 ( 221 人 )  
第 3 訓練会場 福生第三小学校 ( 242 人 )  
第 4 訓練会場 福生第四小学校 ( 304 人 )  
第 5 訓練会場 福生第五小学校 ( 163 人 )  
第 6 訓練会場 福生第六小学校 ( 355 人 )  
第 7 訓練会場 福生第七小学校 ( 168 人 )  
福生市災害ボランティアセンター 福生市福祉センター ( 54 人 )  
( ふっさボランティア・市民活動センター )

( ) 内は各訓練会場参加者数

参加機関 福生市 福生市消防団 福生消防署 福生警察署 福生市交通安全推進委員会 福生消防署防災女性の会 (株)NTT東日本 - 東京西 武陽ガス(株) 福生アマチュア無線クラブ 福生 L P G 協会 災害時支援ボランティア ふっさボランティア・市民活動センター 市内自主防災組織 福生市医師会 公立福生病院 西多摩接骨師会福生支部

参加者数 1,765 人

#### イ 起震車体験訓練

目 的 人工地震の揺れのなかでの出火防止、避難路確保等の実践体験を通じて防災行動力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、自主防災組織(町会)、学校、事業所等で福生消防署の協力により、初期消火訓練、応急救護訓練等と併せて行った。

運用回数 15 回 ( 平日 6 回 土・日曜日 9 回 )

運用先 自主防災組織 4 回 学校等 6 回 事業所等 5 回

体験者数 3,315 人

### (2) 災害対策事業

#### ア 防災啓発活動

##### (ア) 自主防災リーダー講習会及び救命講習会

講習日 平成 20 年 7 月 5 日(土) 午前 9 時 00 分～午後 3 時 45 分

場 所 福生市役所及び福生市商工会館

受講者数 54 人

##### (イ) ふっさ防災展

開催日 平成 21 年 1 月 17 日(土)～18 日(日)

場 所 福生市プチギャラリー

- 内 容
- ・「災対本部、始動」  
新庁舎の防災対策、民間団体との協定、備蓄品と備蓄食糧
  - ・「新無線、運用開始」  
防災ふっさの放送、防災行政無線の新機能
  - ・「地震、その時...」  
地震を体験しよう、地震その時の備え、避難場所と避難所
  - ・「特設コーナー」  
住宅用火災警報器・家具転倒防止器具の展示説明等、  
D I G 紹介（地域防災マップづくり）、防災ビデオ上映  
応急救護・A E D（自動体外式除細動器）体験指導、  
子ども用防火服試着コーナー

コーナーごとに、パネル・実物の展示及びにパンフレットの配布を実施。また、ビデオ上映も行った。

入場者には乾パンを1缶ずつ、大人には展示解説シートを、子供には消防署で用意した風船を持ち帰ってもらった。また、小学生以下を対象に消防制服着用のサービスも実施した。

見学者数 425人

(ウ) 自主防災組織による災害体験学習

月日	自主防災組織名	学習場所	参加者数(人)
6.29	武蔵野地区	横浜市民防災センター	23
7.5	福生団地地区	静岡防災センター	42
9.7	熊川牛浜地区	立川防災館	114
9.11	富士見台地区	前橋防災センター	31
9.13	本町第一地区	本所防災館	20
9.21	志茂第二地区	立川防災館	30
9.27	本町第七地区	さいたま市防災センター	28
10.5	志茂第一地区	立川防災館	53
10.11	永田地区	さいたま市防災センター	18
10.19	南田園二丁目地区	さいたま市防災センター	31
10.25	武蔵野台一丁目地区	四谷消防博物館	40
10.26	本町第三地区	立川防災館	23
11.1	本町第二地区	狭山市消防本部	20
11.2	福栄地区	横浜市民防災センター	33
11.3	本町第六地区	立川防災館	34
11.16	本町第八第一地区	前橋防災センター	40
11.22	本町第八第二地区	山梨県防災安全センター	25
11.23	牛浜第二地区	立川防災館	35
21.2.14	内出地区	立川防災館	16
2.15	玉川台地区	山梨県防災安全センター	30
2.22	原ヶ谷戸地区	横須賀防災センター	36
3.1	加美第一、加美第二地区	四谷消防博物館	32
3.8	加美平団地地区	横浜市民防災センター	33
合計	24地区		787

## (エ) 自主防災訓練の実施

自主防災組織名	参加者数(人)	自主防災組織名	参加者数(人)
福生熊川住宅地区	92	牛浜第一地区	100
南地区	160	原ヶ谷戸地区	117
内出地区	165	志茂第一地区	6
武蔵野地区	87	志茂第二地区	20
福東地区	11	本町第一地区	6
鍋ヶ谷戸第一地区	288	本町第六地区	5
鍋ヶ谷戸第二地区	43	本町第七地区	119
玉川台地区	85	本町第八第一地区	150
富士見台地区	42	本町第八第二地区	30
福栄地区	25	加美平団地地区	27
熊川牛浜地区	89	長沢地区	75
福生団地地区	四地区合同 128	加美第一地区	二地区合同 536
南田園一丁目地区		加美第二地区	
南田園二丁目地区		合 計(28地区)	2,406
南田園三丁目地区			

## イ 各自主防災倉庫配備品

品名	各数量	品名	各数量
毛布	15枚	投光機	1台
ポリタンク	1個	三脚(投光機用)	1台
応急救護セット	1セット	発電機	1台
骨折セット	1セット	ガソリン携行缶	1個
救急箱	1セット	ロープ(15m)	1巻
担架	4台	三角バケツ	10個
テント	1張	のこぎり	1本
ヘルメット	45個	オイルパン	2個
ハンドマイク	2台	メガホン (トランジスター型1台)	5個
移動式炊飯器	1台	消火器	6本
防水シート	10枚	のぼり旗	2本
スコップ	5本	リヤカー (折りたたみ式2台)	3台
コードリール	1巻	パール	1本
強力ライト	3個	ラジオ付ライト	3個
ハンマー	3本	チェーンソー	1台
つるはし	1本	災害救助工具セット	2セット
一輪車	1台	軽可搬式消防ポンプ 1	1台

1 内出地区、武蔵野地区、福東地区、熊川牛浜地区、牛浜第一地区、原ヶ谷戸地区、志茂第二地区、本町第七地区、本町第八第一地区、本町第八第二地区、永田地区、長沢地区、加美第二地区 計13地区

## ウ 応急対策資器材・物資整備計画

応急食糧として乾パン等のランニングストックを継続実施した。

工 初期消火体制強化計画

街頭設置消火器及び格納箱の新旧取替えを実施した。

2 消防活動

(1) 常備消防(福生消防署)

福生、羽村、瑞穂の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員186名の署員と消防ポンプ車5台、非常用ポンプ車2台、化学車1台、はしご車1台、救急車3台、非常用救急車1台、指揮隊車1台、査察広報車4台及び人員輸送車1台からなる陣容で予防行政の執行、災害活動等に従事している。

出場状況(管轄区域) (単位:件)

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
92	29	4	6,747	383	91	64	7,410	7,830

(2) 非常備消防(福生市消防団)

市内にある5個分団からなる消防団組織(団員186人。消防ポンプ車5台及び指揮車1台を保有)により、消防活動を実施している。

ア 消防団組織

団長 (1人) 副団長 (4人) 本部付団員 (6人)	第一分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)
	第二分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)
	第三分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)
	第四分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)
	第五分団長 (1人)	副分団長 (2人)	部長 (3人)	班長 (9人)	団員 (20人)

イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車両の種類	車両購入年月日
団本部	八王子800さ6574	普通自動車「ワゴンタイプ」(ニッサン)	平成15年9月
第一分団	八王子88す659	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成10年11月
第二分団	八王子88さ8964	"	平成9年10月
第三分団	八王子830さ2303	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成11年11月
第四分団	八王子88さ8169	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成9年3月
第五分団	八王子830さ2305	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成12年12月

ウ 年齢別団員数

(単位:人)

年齢 団員数	18~20歳	21~25歳	26~30歳	31~35歳	36~40歳	41~45歳	46~50歳	51歳以上
186	6	41	50	32	41	13	3	0

エ 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
186	65	47	44	25	3	2	0

才 退団・入団員数

(単位：人)

区 分	平成20年4月1日現在	退団者	入団者	階級異動	平成21年4月1日現在
本 部	5				5
本部付団員	6				6
第 一 分 団	34		1		35
第 二 分 団	35	2	2		35
第 三 分 団	35	5	5		35
第 四 分 団	35				35
第 五 分 団	35				35
合 計	185	7	8	0	186

力 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出 動 回 数(件)	延べ出動団員数(人)	平均出動団員数(人)
36	25	3,202	128.1

キ 消防団出動状況(風水害等)

延べ出動団員数(人)	出 動 回 数(回)
0	0

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
祭 礼 警 戒	171	2
七 夕 警 戒	443	4
歳 末 警 戒	322	5
そ の 他 の 警 戒	163	6
合 計	1,099	17
前 年 度 合 計	1,064	19

ケ 消防団各種訓練(消防)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
火 災 防 御 訓 練	376	5
ポ ン プ 操 法 訓 練	4,258	46
機 関 訓 練	1,723	50
規 律 ・ 礼 式 訓 練	490	4
教 育 訓 練	701	10
住 民 指 導	35	2
合 計	7,583	117
前 年 度 合 計	8,147	144

コ 消防団各種訓練(災害)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
教 育 訓 練	106	4
住 民 指 導	387	10
合 計	493	14
前 年 度 合 計	606	16

サ ポンプ操法審査会（第 56 回）

審査会は、消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動の迅速かつ確実な実施及び火災による生命・財産の損害の防止を目的とし、ホースカーによるホース延長操法及び手びろめによる延長操法を隔年で実施している。

平成 20 年度	ホースカーによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第三分団	第四分団	第一分団
チーム成績	第四分団 B	第三分団 B	第三分団 A

前 年 度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第三分団	第五分団	第四分団
チーム成績	第三分団 B	第一分団 B	第五分団 B

( 3 ) 火災の状況

ア 月別火災発生件数

区分 月	建 物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	焼失面積 (㎡)	非火災 (件)	消防団 出動回数 (回)
	全焼 (件)	半焼 (件)	ぼや (件)						
4		1	1		1	3	56 (0)		1
5					3	3	0	1	2
6								2	2
7					1	1	0	1	1
8			2		1	3	0	1	3
9								2	2
10	1		1		1	3	101 (0)		2
11			2			2	0	1	2
12		1	4		1	6	2 (0)	2	5
21年1			1		4	5	0	1	2
2	1		4		2	7	102 (7)	1	1
3			1		2	3	5 (0)	1	2
合計	2	2	16	0	16	36	266 (7)	13	25
前年度 合計	0	8	11	2	15	36	90 (33)	13	22

半焼は、部分焼を含む。焼失面積の( )内は、表面積

イ 原因別火災件数

( 単位 : 件 )

原因		放 火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
件 数	平成 20 年度	19	5	2	4	1	5	36
	前 年 度	18	4	0	3	2	9	36

(4) 消防水利施設

ア 水利

(単位：基、箇所)

消火栓		合計	防火水槽			貯水槽		合計	プール
150mm未満	150mm以上		20 m <sup>3</sup> 未満	20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未満	40 m <sup>3</sup> 以上 60 m <sup>3</sup> 未満	60 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup> 未満	100 m <sup>3</sup> 以上		
464	156	620	36 (0)	6 (0)	98 (88)	17 (17)	22 (22)	179 (127)	17

( )は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

イ 消火栓新設箇所

(単位：mm)

番号	設置箇所	口径	備考
1	大字熊川 461 番地先	100 × 75	地下式単口
2	牛浜 30 番地先	〃	〃
3	加美平三丁目 40 番地先	〃	〃
合計	3 箇所		

ウ 消火栓移設箇所

(単位：mm)

番号	設置箇所	新口径	旧口径	備考
1	南田園三丁目 5 番地先	250 × 75	250 × 75	地下式双口 地下式単口
2	南田園三丁目 18 番地先	250 × 75	250 × 75	地下式双口 地下式単口
合計	2 箇所			